

異常状態リスト意味

あ行	名称	説明
	圧迫（あっぱく）：	端の部分が潰れて生じる事。
	萎縮（いしゅく）：	正常な容積に发育した臓器や組織の容積が様々な原因により減少した状態。 萎縮の形式により、実質細胞の縮小による単純萎縮と実質細胞数の減少による 数的萎縮とに分類される。
	鬱血（うっけつ）：	臓器組織内の静脈や毛細血管内の血流が停滞し増加した状態。
	炎症（えんしょう）：	物理的刺激（火傷や凍傷など）、や化学的な刺激（化学薬品接触など）や ウイルスなどの微生物の感染に対して起こす生体の防御反応の一つ。 発赤、熱感、腫瘍、疼痛を炎症の4兆候といいます。
か行	名称	説明
	感染（かんせん）：	生物の体内もしくは表面に、体積の小さい微生物等の病原体が寄生し、 増殖するようにする事。
	狭窄（きょうさく）：	管の中が細く狭くなる事。
	緊張（きんちょう）：	生理学で、筋肉や腱が一定の収縮状態を維持している事。
	虚血（きょけつ）：	血管が血液を送っている組織や細胞に血液が十分に供給されない状態。 酸素不足とほぼ同じ。
	欠損（けっそん）：	一部の組織あるいは器官が存在しない状態。
	混濁（こんだく）：	色々なものが混じり濁ること。 意識などが混乱しはっきりしない事。
	硬化（こうか）：	物がかたくなること。⇔軟化。 組織またはその一部が、例えば充血、炎症などのために結合組織のし増殖 をきたして硬くなることをいう。
	ゴミ（ごみ）：	不要になりすてられた物なや、その辺にある汚いものをいう。
	強張り（こわばり）：	こわばること。固くなること。
	骨折（こっせつ）：	骨が折れる事。また、の骨にヒビが入ったり、その一部または全部が 折れたりする事。傷口が開いていない場合を閉鎖性骨折・単純骨折、 傷口が開いている場合を開放性骨折・複雑骨折とよぶ。
さ行	名称	説明
	腫瘍（しゅよう）：	正常な組織細胞は、必要以上に分化分裂を行わないように調節を受けているが、 そこからはずれ自立的に増殖を始めるようになった組織。 良性のものと悪性のものに分けられる。
	弛緩（しかん）：	たるんだようになって緩む事。 緊張していたものの緊張がゆるむこと、緊張がほぐれるさまなどを指す表現。
	充血（じゅうけつ）：	毛細血管などの末梢の血管が拡張して、その動脈からの血液の流入 が増加した状態。
	伸縮（しんしゅく）：	伸びたり縮んだりする事。また、伸ばしたり縮めたりする事。のびちぢみ。
	出力（しゅつりょく）：	何らかの対象から出る信号や力、またその種類や大きさのことである。
	ズレ（ずれ）：	ずれた部分の事。違っている部分の事。小さい差や違いなどを幅広く指す。
た行	名称	説明
	超過（ちょうか）：	あるものをこえて先に出る事。他よりまさっていること。
	低下（ていか）：	低くなる事。下がる事。⇔上昇。
	痙縮（けいしゅく）：	神経系の問題で生じる。錐体路の異常によって起こる（関節内での問題）
な行	名称	説明
	捻転（ねんてん）：	捻じれて方向が変わる事。
は行	名称	説明
	瘢痕（はんこん）：	擦り傷や切り傷などの外傷ややけど（熱傷）、またニキビや手術による 傷が治ると、傷跡が残ることがあります。
	閉塞（へいそく）：	閉じて塞ぐ事。出入りが出来なくなる事。
	不足（ふそく）：	不十分。
	肥厚（ひこう）：	肥えたりはれたりして厚くなる事。
	変形（へんけい）：	形を変える事。形が変わる事。変えた形。特に普通と変わった形。

	膨張（ぼうちょう）：	膨れ上がる事。規模が広がって大きくなる事。また、数量が増大する事。 物体の長さまたは体積が増大する事。
	不全（ふぜん）：	物事の状態や機能が不十分であること。
	腐敗（ふはい）：	有毒物質を生じたり悪臭を放つようになったりする事。腐る事。
	ヒビ（ひび）：	皮膚や骨などにできる、細かい割れ目。
	浮腫（ふしゅ）：	組織自体に水分が溜まって膨らむ状態。
ま行	名称	説明
	浮腫み（むくみ）：	細胞と細胞間にある、水（間質液）異常に増加して排出されていない状態。
	密度（みつど）：	粒子がどのくらい密着しているかをあらわす。質量密度は、単位体積あたりの質量をあらわし、数密度は、単位体積あたりの粒子数をあらわす。
や行	名称	説明
	歪み（ゆがみ）：	物体に外力を加えたときに現れる形状または体積の変化。 ねじれ・ゆがみ・ちぢみなど。
	汚れ（よごれ）：	汚れる事。汚れた箇所。汚染。
	ヨレ（よれ）：	端の部分が潰れて生じる事。